

# 七三だより 臨時号



学校教育目標  
未来を拓く  
～めでそう！ がむしゃら～  
自ら喜ぶ子 深考る子 協力する子

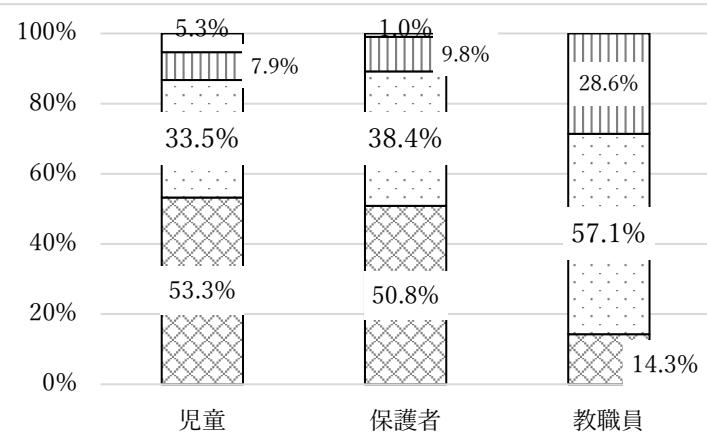
令和5年 11月 27日  
京都市立七条第三小学校  
校長 中野 真吾

第1回学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。集計結果及び考察がまとめましたので、お知らせします。お忙しい中、学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。

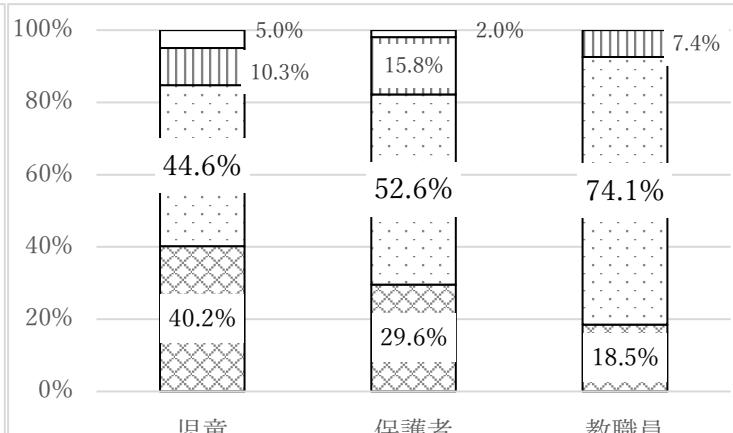
## 保護者の方(57%)・児童(95%)・教職員(100%)のアンケート集計結果

そう思う(教職員;よく出来ている)  大体そう思う(教職員;大体できている)  あまりそう思わない(教職員;あまり出来ていない)  そう思わない(教職員;出来ていない)

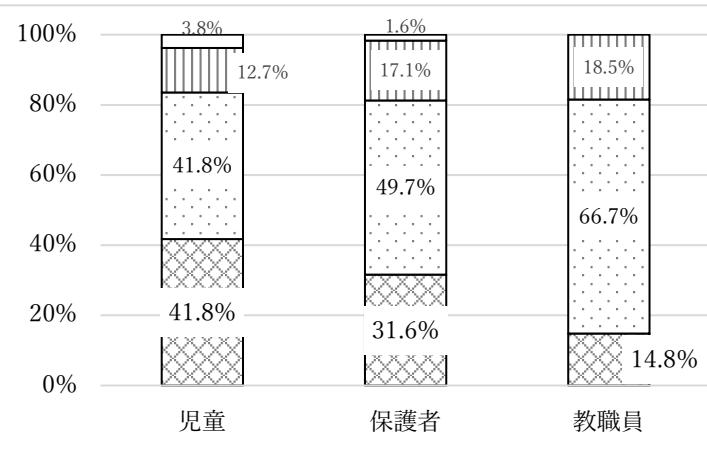
1. 学校は楽しい(教職員;学校生活のあらゆる場面において、子どもが主体的に取り組める活動を意図的に行っている。)



2. 授業が楽しくよく分かる(教職員;基礎・基本の学力の定着を図る取組を行っている。)



3. 授業中進んで学習に取り組んでいる(教職員;子どもたちが主体的に学ぶ授業の工夫を行っている。)

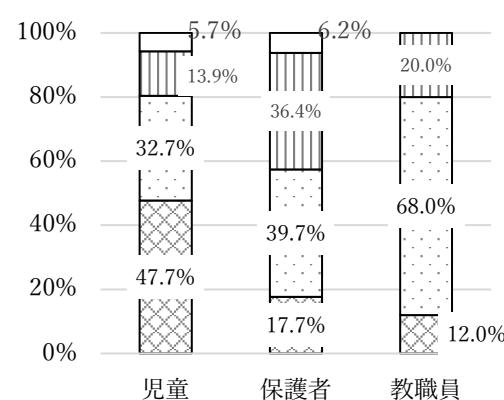


### 【学校について】

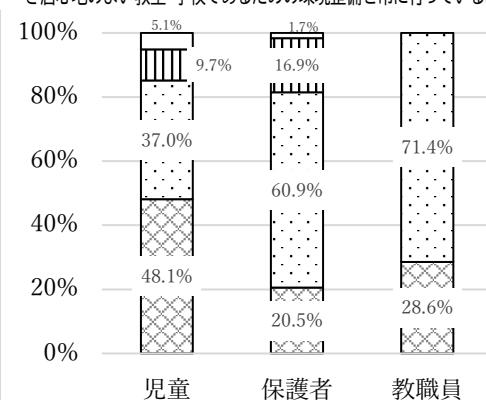
「学校は楽しい」の項目では、『そう思う』『大体そう思う』の割合が、児童・保護者ともに88%を上回っています。一方で、『あまりそう思わない』『そう思わない』に約10%以上回答していること、教職員が「意図的に」『あまり出来ていない』に約28%回答していることにも目を向ける必要があります。

「授業が楽しい」「授業中に進んで取り組む」が『そう思う』『大体そう思う』の割合が約80%を上回っています。家庭学習をはじめ、学習指導についてのご理解・ご協力いただいている結果だと考えられ、子どもたちの頑張りが成果として表れてきています。さらに、授業の工夫に力を注ぎたいと思います。

6. 家庭での計画的な学習(教職員;子どもが計画を立てて進んで学習するよう、家庭学習への働きかけや宿題の出し方の工夫を行っている。)



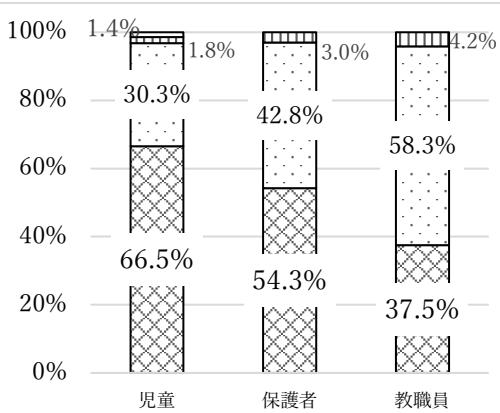
17. 学習環境や見通し(教職員;子どもたちにとって、落ち着き居心地のよい教室・学校であるための環境整備を常に行っている。)



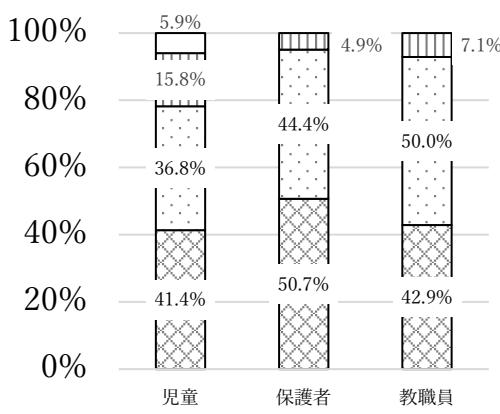
### 【家庭での学習について】

「家庭での計画的な学習」に関しては、児童と保護者との回答に大きな差異が見られました。学習に向かう姿、タイミング、内容など、方向性が一致するようぜひお家で家庭学習の仕方を話し合ってください。また、落ち着いて学習するためには、学習環境を整えることは必須です。学校でも引き続き、学びやすい環境を整えていきたいと思います。

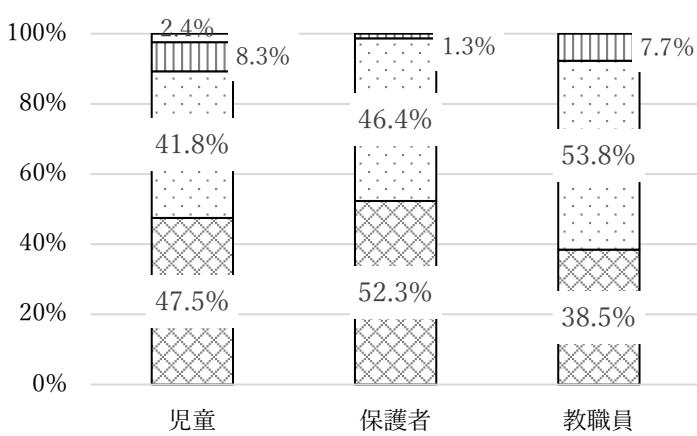
9. 相手を大切にしているか(教職員;一人ひとりを徹底的に大切にする学級づくりを行っている。)



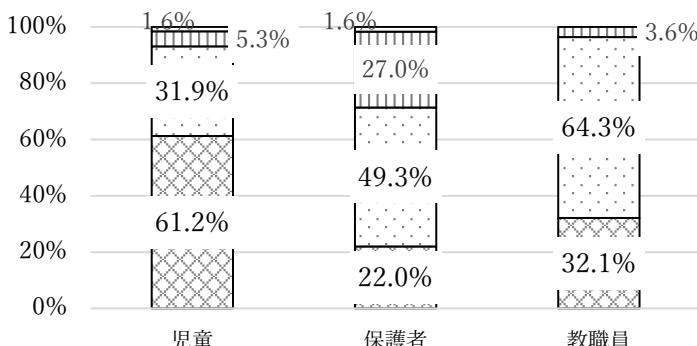
11. よいところがあるか(保護者・教職員;子どものよいところを本人に伝えている。)



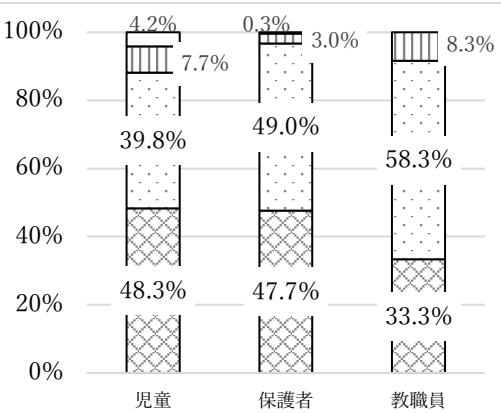
14 学校や学級の約束やきまりを守れているか(保護者・教職員;きまりを守る大切さについて話して(指導して)いるか。)



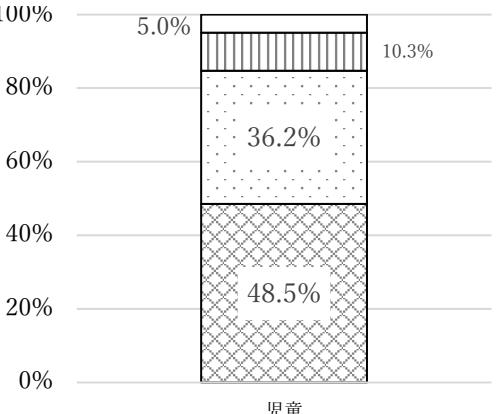
13 自分の持ち物や学校の物を大切にしているか。(教職員;ものを大切にする指導を行うとともに、率先して範を示している。)



10. 相手から大切にされているか(教職員;互いに、思いを受けとめ、認め合うことのできる学級づくりを行っている。)



12. 児童;お家人や学校の大人は、あなたのよいところを認めてくれていると思うか

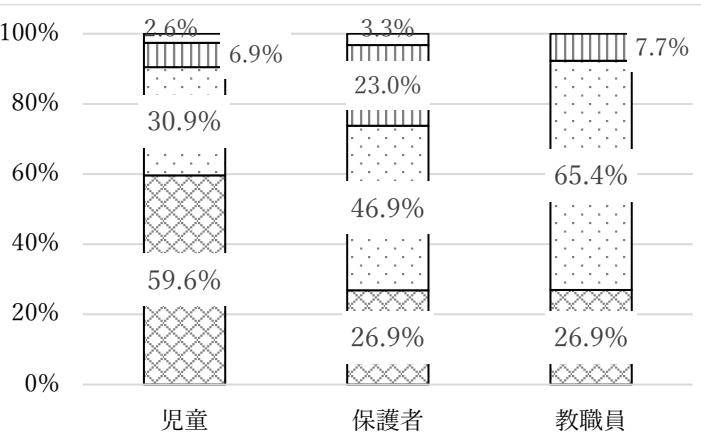


## 【自己肯定感について】

項目9~12については、児童と保護者で少し回答の割合に差異が見られました。「相手を大切にしている」割合は多いけれど、「相手から大切にされている」の割合は、子どもの『あまりそう思わない』『そう思わない』の割合が10%を超えていました。大人の尺度だけで見るのではなく、子どもの立場に立って考えることが必要ではないかと思われます。

また、『そう思う』『大体そう思う』の割合が、「よいところがあるか」の項目では、児童が約80%、「お家人や大人は、よいところを認めてくれていると思うか」の項目では、約84%にとどまっています。よいところをタイミングよく、心に届く具体的な言葉で子どもに伝えることで、よいところを認めてもらっていると感じ、自己肯定感を高めて相手も自分も大切にする気持ちが向上すると考えます。お家でもたくさんよいところを見つけ、伝えていただけたらうれしいです。

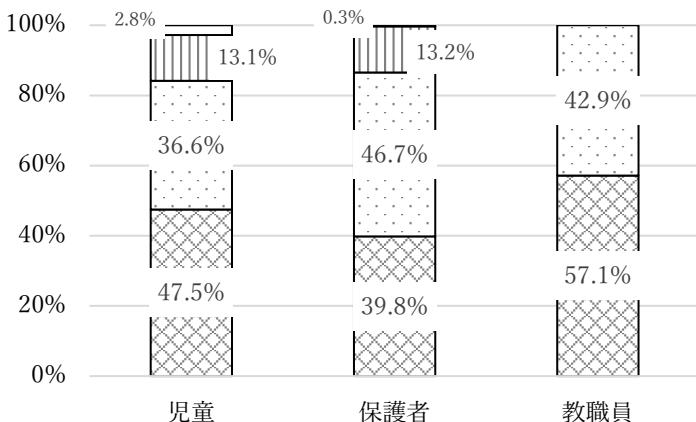
15 スマートフォンやタブレットなどを使うときのルールや約束を守っているか(教職員;GIGA 端末活用時に意識して指導しているか。)



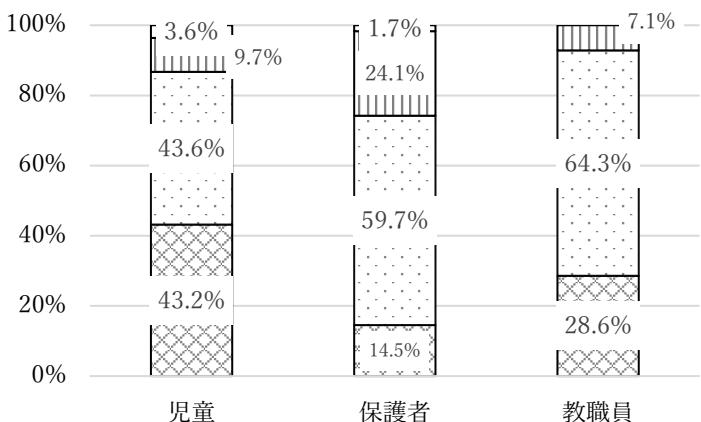
## 【きまり・ルール・情報モラルについて】

「15スマホやタブレットのルールや約束」について、保護者・教職員と児童の回答で大きな違いが見られました。児童は『そう思う』『大体そう思う』の割合が約90%を超えていますが、学校での普段の使い方を見ていると、学習時の使い方や使うタイミング、準備や片付け方など、まだまだ指導を継続していく必要があると感じています。ICT 機器が身近にあり扱いに慣れてきた現在、ルールを守る大切さを今一度ともに考えていきたいと思います。また、ものを大切にしたり、きまりを守ったりすることが相互に関係してモラル意識を向上させていきます。お家でも引き続き、「ルールを守ることでよい社会をつくることができる」ことを話し合ってください。

5 自分から進んで挨拶をしているか。(教職員;子ども・地域・保護者  
へ、自ら進んで相手に届く挨拶を行い、範を示している。)



16 友達や周りの人に対して、言葉づかいに気を付けているか。(保護者・教職員;正しい言葉遣いを指導するとともに、自分自身も場に応じた言葉遣いをしているか。)



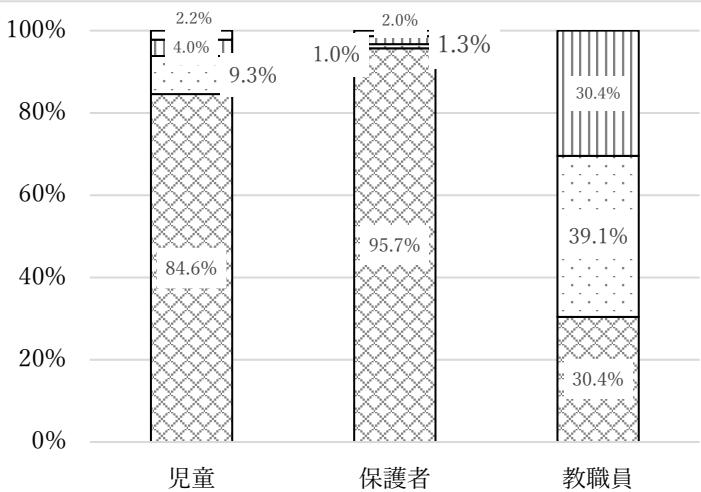
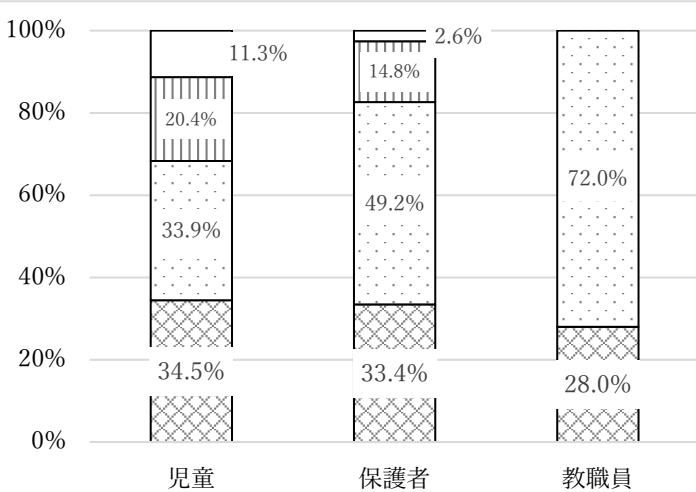
【関わりについて】

挨拶や言葉遣いなど、相手と関わる上でとても大切です。『そう思う』『大体そう思う』の割合がともに90%を超えていないことに、注目していただきたいと思います。挨拶に関しては、「あいさつデーの取組」「児童会のあいさつ運動」「下校時の見守り隊」「登校時のPTAの皆様の立ち当番のご協力」など、お互いが目を見て心を通い合わせ、気持ちのよい挨拶ができるように、取組を継続し意識を高めていきたいと思います。

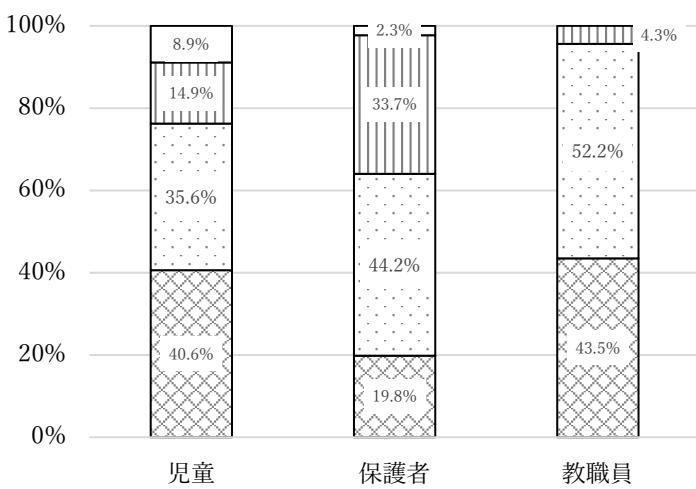
また、言葉遣いも大人・子ども関係なく同じように話していることがあり気になります。時と場合で使い分けて、正しい会話ができるように、国語の学習等で、話す力を育てる指導を続けていきます。お家でも、正しい言葉遣いができるように、たくさん話し合って、言葉を使う経験を増やしてください。

4 普段、早寝・早起きをする生活リズムが身についているか(教職員; 基本的生活習慣を確立することの大切さを子どもたちに指導している(保健・給食だより等の活用)

21 普段、朝ごはんを食べて学校に来ているか(教職員;基本的生活習慣(保健・食に関する指導を含む)を確立することの大切さを保護者に働きかけている。)



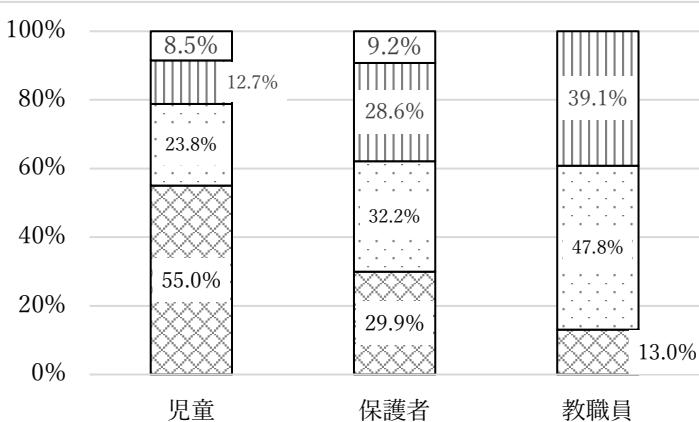
18 家での手伝いをしっかりしているか(保護者・教職員;家の手伝いや当番活動(給食・掃除・係・委員会等)を、責任をもってやり切るようにしている。)



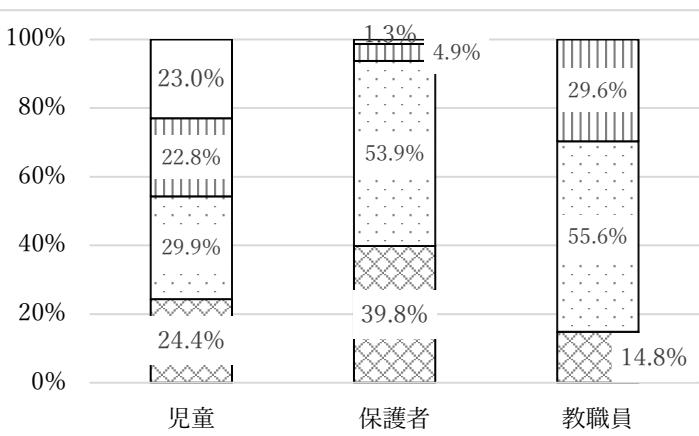
【ご家庭での生活について】

早寝早起きや朝ごはん、家での役割など、基本的な生活習慣を身につけることで、よいルーティーンが生まれ、心の余裕につながります。また、役割をしっかりともたせ、それを達成したときにしっかりとほめることで、次への意欲につなげることができます。自己肯定感を育んだりすることができます。5・6年生の家庭科の学習でも、「家庭での役割」をもつことが大切であることを学びます。今年度の5・6年生の委員会活動では、委員会 자체や活動内容を子どもたちが自ら考えて創り出しました。与えられた仕事だけよりも、「学校をよくするために必要なことは何か」を子どもたちが自主的に考えることで、より幅広い活動になっています。昨年度のハナヤ学習で学んだことも活かし、子どもたちから生まれる発想を大切にしながら、七条第三小学校のみんなにとって有意義な委員会活動にしていきたいと思います。

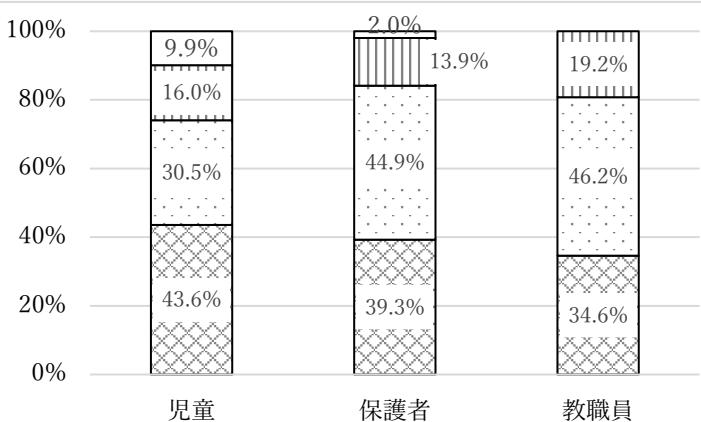
7 読書は好きか(教職員; 読書が好きになるように、工夫を行っている。)



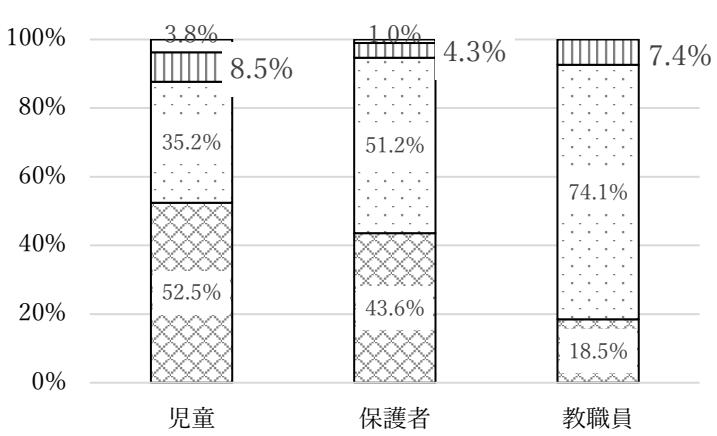
20 PTA や地域の行事に参加しているか。(教職員; 学校と地域や PTA との関わりの大切さを意識し、取組に積極的に参加している。)



8 その日の学校や学級での出来事について話しているか(教職員; 学校での様子などを、HP や予定表を活用して、保護者に働きかけている。)



19 話を聞いてくれたり、相談にのってくれたりしているか(教職員; 子どもたちの話を聞き、子どもや保護者の願いや思いを把握している。)



## 【その他について】

「8 その日の学校や学級での出来事について話しているか」の項目では、『そう思う』『大体そう思う』の割合が、児童の回答で約74%、保護者の回答で約84%となりました。学校での出来事や学習の様子などは、HP 等でお伝えしていますが、細かいところまで伝えきれていないこともあります。子ども・保護者・学校が同じ話題で盛り上がることができるように、できる限り発信する機会を増やしていきたいと考えます。

また、「19 話を聞く、相談にのる、願いや思いを把握する」の項目では、少し差異は見られるものの、『そう思う』『大体そう思う』の割合が約87%以上となりました。一方で、『あまりそう思わない』『そう思わない』の割合の児童や保護者の方がいるという結果に目を向け、一人一人のことを考えながら、しっかりと話を聞き、迅速に解決することができるよう努めています。

## 今後の方向性と取組について

アンケートの回答にご協力をありがとうございました。このアンケート結果を真摯に受け止め、教職員全員で共有し、よりよい学校づくりに向けて、子ども一人一人を大切にした学校教育活動を進めています。そのためには、「まずは大人が」範を示したり、意図的・主体的に工夫して取組を行ったりして、よりよい学校となるようにしていきたいと考えています。また、子どもたちが安心して学習したり活動したりできるように、実態を的確に捉え、周りの環境を整えていきます。「ものを大切にする=人を大切にする」につながるように、教職員一同意識を高め、子どもたちにも指導していきたいと思います。学校教育目標の「なりたい自分」に向かって、子どもたちに寄り添いながら一緒に考えてていきます。

最後に、子どもを育てるためには、学校だけでなく家庭・地域の皆様のご協力が必要です。子どもたちの学力向上や健全育成、そして社会を生きる力を育むために、学校・家庭・地域との連携をさらに深めていきたいと思います。これからも、子どもたちの輝きをできる限り HP やお便り、校内の掲示等で発信していきます。ご理解・ご協力をどうぞよろしくお願いします。